

報道関係各位 企画展のご案内

久泉迪雄の書斎から
— ”悠かなり 富山の文化“ —

高志の国文学館 企画展

令和3年2月6日(土)～3月27日(土)

開館時間／9:30～18:00(観覧受付は17:30まで)
 休館日／毎週火曜日 ※2月23日(火・祝)は開館。2月12日(金)、2月24日(水)、3月22日(月)は休館。
 観覧料／一般400円(320円)、大学生200円(160円)、前売り・一般320円(裏面をご覧ください)
 ※()内は20人以上の団体料金。企画展観覧券で常設展もご覧いただけます。
 ※次の方は、常設展・企画展ともに無料で観覧できます。小・中・高校生及びこれに準ずる方、各種障害者手帳をお持ちの方。

主催／高志の国文学館 共催／北日本新聞社、富山テレビ放送
 特別協力／久泉迪雄 協力／一般社団法人富山県芸術文化協会、学校法人富山国際職業学園、高岡市美術館、富山県歌人連盟、富山県美術館

MAKE TOYAMA STYLE
BEYOND CORONA, WITH US

高志の国文学館
KOSHINOKUNI
Museum of Literature

展覧会ポスター

広報に関するお問い合わせ：高志の国文学館 事業課 佐藤・高瀬・永井・山田
〒930-0095 富山県富山市舟橋南町 2-22 TEL 076-431-5492 / FAX 076-431-5490

Summary

歌人であり、富山の文化そのものである人—久泉迪雄。

久泉迪雄（ひさいずみ・みちお）は、技術者、数学・工学、国語、時には英語の教員、そして富山県立近代美術館（現・富山県美術館）副館長、高岡市美術館長と、多彩な経歴を持ち、職藝学院の創設に携わり、富山県芸術文化協会、富山県歌人連盟はじめ、数多くの文化団体の運営を支え続けて来ました。幅広い関心と専門領域、類まれな行動力、誠実な人柄と人間的な魅力。なにより富山の自然と風土、文化を愛する歌人として、大伴家持の歌のこころを引き継ぎ、万葉集の故地に豊饒な文化が花開くことを願い、精力的に活躍しています。

本展では、自然科学と文学の双方に通じ、美術、工芸に造詣が深く、多くの文学者、美術家との出会いを通して富山の教育と文化の発展に力を尽くしてきた知の体系を探り、富山の文化の過去と現在を俯瞰し、その未来を展望します。

Profile

久泉 迪雄 ひさいずみ・みちお

歌人 1927（昭和2）年7月25日生まれ 東京府豊多摩郡和田堀町（現・杉並区和田堀）出身



金沢工業専門学校本科機械科卒業。1951（昭和26）年「紫苑短歌会」、1960（昭和35）年歌誌「林間」（東京）、日本歌人クラブに入会、以後活動は県内外に及ぶ。1966（昭和41）年富山県歌人連盟事務局長、2000（平成12）年同会長、現在名誉会長。また、富山県立近代美術館副館長、高岡市美術館館長として設立運営に携わる。富山県芸術文化協会には、設立当初から関わり、同事務局庶務部長、副会長を経て参議。また、職藝学院顧問・特別講師。日本文藝家協会及び日本ペンクラブ会員、日本短歌協合理事長代行としても活躍。著書に、随想集『窓明かり』、歌論集『時評的短歌ノート』、歌集『諷詠三百六十五日』、歌集『季をわたる』、美術論集『美のこころ美のかたち』、歌集『塔映』など。綺羅短歌の会主宰、季刊『綺羅』を編集発行。

Outline

展覧会名	久泉迪雄の書齋から—“悠かなり 富山の文化”
会 期	2021（令和3）年2月6日（土）～3月27日（土）
会 場	高志の国文学館 〒930-0095 富山県富山市舟橋南町2-22 TEL 076-431-5492 / FAX 076-431-5490 http://koshibun.jp/
開館時間	9：30～18：00（観覧受付は17：30まで）
休 館 日	毎週火曜日 ※2月23日（火・祝）は開館。 2月12日（金）、2月24日（水）、3月22日（月）は休館。
観 覧 料	一般 400円（320円）、大学生 200円（160円）、前売り・一般 320円 ※（ ）内は20人以上の団体料金。企画展観覧券で常設展もご覧いただけます。 ※小・中・高校生及びこれに準ずる方、各種障害者手帳をお持ちの方は無料。
主 催	高志の国文学館 共 催 北日本新聞社、富山テレビ放送
特別協力	久泉迪雄
協 力	一般社団法人富山県芸術文化協会、学校法人富山国際職藝学園、高岡市美術館、富山県歌人連盟、富山県美術館
展覧会担当	高志の国文学館事業課 主任（学芸員） 小林加代子（こばやし・かよこ）

Theme

歌人であり、富山の文化そのものである人—久泉迪雄

それぞれの土地に、それぞれの土地に住む人びとの愛着がありますように、
富山に住む私は、富山の自然風土を愛してやみません。

住む土地への無限の傾倒が、

つまりはグローバルな思想の原点であると、私は思うのです。

(『とやま短歌ごよみ』シー・エー・ピーより)

□展示構成

導入展示1 久泉迪雄インタビュー映像上映

私は、短歌がそういう記録の働きをすることをありがたく思い、それを実行してきた。
しかしそれを単なる記録としてとどめるのではなしに、私なりの文明批評的な見方で、
書き留めるよう、心して来たつもりである。

(『遠近の眺め』より)

1 美のこころ美のかたち—風土が育んだ清冽な文化

久泉迪雄が企画展に際して選んだ、高岡市美術館、富山県美術館所蔵の思い出深い富山ゆかりの絵画作品を、自身のことばとともに紹介します。

2 いい人いい言葉との出会い—書斎の書画と書簡の物語

久泉迪雄の書斎に大切に保存されてきた書画や書簡を、その出会いの物語とともに紹介します。

3 窓明かり—数学と文学が支えた活動の足跡

多彩な仕事に関わってきた足跡を、思い出の品、自身の短歌や文章とともにたどる年譜として紹介します。

4 諷詠三百六十五日—暮らしに寄り添う短歌

2001年から毎日作り続けている短歌から、会期50日分の歌を選んで展示紹介します。

作歌は、私の暮らしの句読点のようになりまして、今に続いております。

(『諷詠三百六十五日』より)

Topics

- 1 「久泉迪雄の書斎から」という企画展タイトルや、展示室内の書斎の一日を撮影した映像などを通して、文学展が持つ固いイメージや敷居の高さを払拭し、気軽に見て楽しめる展示とした。
- 2 書斎を彩ってきた蔵書、色紙、短冊、書簡の展示を通して人との出会いが新たな創作や活動の源になってきたことを表現した。また、久泉の多彩な活動が富山の芸術・文化の歩みそのものであることを実感できる展示とした。
- 3 愛好する絵画、舞台芸術、日用品を、久泉自身の短歌や言葉を添えて展示紹介した。久泉によって選ばれたこれらの芸術には、風土によって磨かれた、共通する本質的な美を感じ取ることができる。
- 4 久泉の短歌を要所に配し、日々の暮らしに寄り添う歌を紹介するほか、本展のために撮り下ろしたインタビュー映像を会場で上映する。
- 5 久泉と交流のあった方々の寄稿文と展示資料を収録した図録を発行する。

Events

(1) 記念講演

[テーマ] 富山の文化の受容力—久泉迪雄の仕事の契機として(仮)
 [講師] 鈴木忠志氏 (演出家、劇団 SCOT 主宰)
 [日時] 2月21日(日) 14:00~15:30
 [会場] 研修室 101+当館ライブラリーコーナー (スクリーン映像上映)
 [聞き手] 杉田欣次氏 (隠し文学館 花ざかりの森 館長)

◎申込必要 ◎参加無料

◎定員/54名 (ライブラリーコーナーを含む定員総数 100名)

(2) 朗読と音楽の集い

[テーマ] 久泉迪雄エッセイ集『窓明かり』(桂書房) 他より
 朗読/谷井美夫氏 (劇団「文芸座」俳優) 演奏/戸島園恵氏 (ピアノ)
 協力/一般社団法人富山県芸術文化協会
 [日時] 3月14日(日) 14:00~15:00
 [会場] 当館ライブラリーコーナー

◎申込必要 ◎参加無料 ◎定員/50名

(3) 文芸サロン

[テーマ] 久泉迪雄の作歌活動の軌跡
 [話題提供者] 米田憲三 (歌人)
 [日時] 3月21日(日) 13:30~15:30
 [会場] 当館研修室 101
 [課題図書] 久泉迪雄歌集『塔映』(角川書店) より
 参加を希望される方には、1月17日(日)よりプリントを配布します。
 課題図書を読了の上、当日持参ください。

[主催] 日本ペンクラブ富山の会 [共催] 高志の国文学館

◎申込必要 ◎参加無料 ◎定員/30名

(4) 久泉迪雄インタビュー映像上映会

[日時] ①2月13日(土) ②3月7日(日) ③3月20日(土)
 各回 14:00~ (上映時間 30分)

[内容] 人との出会いを大切に

科学随筆を愛読した少年時代、短歌との出会い、手作り本の魅力、富山の文人たちの思い出、富山県近代美術館創設の頃、職藝学院の歌碑に込めた思い—多彩な活動の原点と富山の文化の魅力を語ります。

[会場] 当館研修室 101

◎申込必要 ◎参加無料 ◎定員 54名

◎上映会后、担当学芸員によるスライド・ビュー (展示解説約 30分、参加自由) を行います。

■申込方法

電話・FAXにて、イベント名・番号(複数可)と氏名、電話番号を当館までお知らせください。

※定員に達し次第、募集を終了します。

※FAXでお申し込みの方には、定員に達してご参加いただけない場合のみ、当館からご連絡いたします。

【同時開催】「文芸同人誌プチマルシェ！」

当館エントランスロビーにて、企画展開催中、富山の文芸同人誌、北陸の短歌同人誌の展示・販売を行います。

【企画展図録】2月6日発売開始

A5判 128頁、1,600円＋税 発売 桂書房

当館ミュージアムショップのほか全国の書店でもお求めいただけます。

Highlight

■主な出品資料

- 久泉迪雄著書、原稿、短冊、色紙、愛読書、愛用の品等 約80点
- 久泉迪雄所蔵の絵画、書、原稿、書簡等 約70点

絵画・版画

浅井景一、金守世土夫、久泉共三、前田常作、松永真、棟方志功、松倉唯司 他

書

會津八一、岩城正春、大岡信、河北倫明、翁久允、小又幸井、中河与一、広川親義、深山榮、米田憲三 他

自筆原稿

岩倉政治、大島文雄、岡部文夫、源氏鶏太、佐伯彰一、長島勝正、廣瀬誠、八尾正治、山崎覚太郎 他

書簡

東野芳明、長崎莫人、結城哀草果、横山豊介 他

- 富山県美術館所蔵絵画作品 3点

大島秀信、前田常作、三尾公三

- 高岡市美術館所蔵絵画作品 6点

浅井景一、橋本博英、久泉共三、久泉すま、松倉唯司、南桂子

- 南砺市立福光美術館所蔵書簡・版画 3点

棟方志功

Images



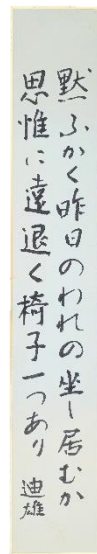
画像 1 久泉迪雄近影 第6歌集『季をわたる』を手に



画像 2 主宰する綺羅短歌の会が発行する歌誌『綺羅』



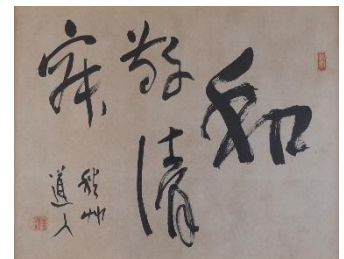
画像 3 久泉迪雄 書「悠（はるか）」
座右の銘として大切にしていることば



画像 4 久泉迪雄 書「黙ふかく昨日のわれの坐し
居むか思惟に遠退く椅子一つあり」 第3歌集『塔映』
所収歌



画像 5 久泉共三「寒菊図」 画家であった父の作品



画像 6 會津八一 書「和敬静寂」 富山県出身
の漆芸家・山崎覚太郎より譲り受けた

Images



画像 7 企画展ポスター

高志の国文学館企画展
「久泉迪雄の書齋から―“悠かなり 富山の文化”」
広報用画像貸出申請書

高志の国文学館事業課 広報担当 行
FAX 076-431-5490

展覧会広報用の画像を貸出しております。ご希望の際は、下記の貸出条件をご確認のうえ、本書に必要事項をご記入いただき、FAX または E-mail にてお申込ください。E-mail の添付にて JPEG データで画像をお送りいたします。

【広報用画像貸出条件】

- ◎画像は展覧会紹介の目的のみにてご使用ください。
- ◎画像のトリミング・加工は次の場合を除きお控えください。画像 3～6 について、p.6, p.7 のイメージのように、作品本紙または額・軸全体をトリミングする場合。画像に文字を重ねるレイアウトはすべてにおいてお控えください。
- ◎画像データは、ご使用後かならず破棄してください。
- ◎画像データを第三者に渡すことを禁じます。
- ◎インターネット上へ掲載する際には、画像をコピーできないよう処置してください。

画像提供

御社名 : _____

御担当者名 : _____

E-mail アドレス : _____

電話 : _____ FAX : _____

掲載誌名・番組名・Web サイト名 : _____

発行・放映・掲載予定日 : _____

申込画像（ご希望の画像をチェックしてください。）

- 画像 1 久泉迪雄近影 第6歌集『季をわたる』を手に
- 画像 2 主宰する綺羅短歌の会が発行する歌誌『綺羅』
- 画像 3 久泉迪雄 書「悠（はるか）」座右の銘として大切にしていることば
- 画像 4 久泉迪雄 書「黙ふかく昨日のわれの坐し居むか思惟に遠退く椅子一つあり」第3歌集『塔映』所収歌
- 画像 5 久泉共三「寒菊図」画家であった父の作品
- 画像 6 會津八一 書「和敬静寂」富山県出身の漆芸家・山崎覚太郎より譲り受けた
- 画像 7 企画展ポスター